

令和5年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

| | | | |
|------|--|------|------------------------|
| 施設名 | 山の下海浜公園プール | | |
| 管理者名 | 公益財団法人新潟市開発公社 | 指定期間 | 2019年4月1日 ~ 2024年3月31日 |
| 担当課 | 東区地域課 | | |
| 所在地 | 新潟市東区船江町1丁目5番1号 | | |
| 根拠法令 | 都市公園法 | | |
| 設置条例 | 新潟市都市公園条例 | | |
| 施設概要 | 山の下海浜公園(敷地面積 3,6ha)内 プール主要施設 造波プール 1,060㎡ 遊泳プール(25mプール、幼児用プール含む) 842㎡ プール管理棟 鉄筋コンクリート造2階建 558.45㎡ トイレ棟 鉄筋コンクリート造平屋 59.66㎡ | | |

| 施設設置目的 |
|---|
| スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。 |
| 管理・運営に関する基本理念、方針等 |
| (1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例(以下「条例」という。)に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。 (9)本市施策の方向性(東区の健康増進施策の方向性である、メタボリックシンドロームの改善や運動の習慣化)に沿った自主事業の提案・実施に努めること |

| 視 点 | 評価項目 | 評価指標 | 実績 | 評価 ※ | 評価コメント ※ |
|-----|--------------------|---|---|---------|--|
| 市 民 | 広報の充実 | ホームページ等による情報提供更新月1回以上 | ・営業期間中HP更新15件 ・Googleビジネスに施設紹介動画投稿、20,000回以上視聴 | A | 積極的に広報活動を行ったことを評価 |
| | 基準利用者数の達成 | 利用者数年間23,500人以上 | 24,584人 | B | |
| | 各種サービス別満足度 | ・アンケートで「満足」が60%以上 ・利用者の声で苦情が5割以下 | ・アンケートで『やや満足以上』が92.3% ・アンケートで苦情0件 | A | 目標を大幅に超えたことを評価 |
| | 苦情・要望に対する対応 | ・苦情・要望には14営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備 | 苦情・要望には迅速に対応 | B | 適切に実施 |
| 財 務 | 利用者一人当たりのコスト削減額 | 過去3年間の施設平均値より1%以上削減 | 415円 (R2-R4平均698円) | A | 過去3年平均から大幅に削減した結果を評価 |
| | 管理運営経費削減への取り組み | 省エネ及び環境に配慮した取り組みの実施 | ・照明の間引き ・コピー用紙裏紙利用など | B | 適切に実施 |
| | 市の歳入の増加 | 使用料収入(免除料金含む)が年間 3,500千円以上 | 3,775,880円 | B | |
| 業 務 | 他施設との連携に関する理解 | 他施設と連携して実施する取組みを年4回以上実施 | 館長会議を開催(毎月2回以上) 東区MTGを実施 | A | 定期的に施設間での連絡調整・意見交換を行ったほか、安全管理のため積極的に他施設との人員調整を行ったことを評価 |
| | 事業計画・事業報告の適切さ | ・事業報告が分かりやすく、かつ正確である ・事業報告の締切厳守 | 適切に対応 | B | 適切に実施 |
| | 安全責任者の配置と安全確保体制の確立 | ・危機管理マニュアルの職員周知 ・防災訓練年2回以上実施 | ・防火管理者の配置 ・消防訓練を年2回実施。 | B | 適切に実施 |
| | 事件・事故発生時の対応の適切さ | ・利用者の安全確保のための対応が整理されている(避難の誘導や蘇生対応等) ・市の主管課及び警察・消防への連絡体制が整備されている | ・避難誘導訓練の実施 ・AED操作訓練 ・水難救助訓練 ・緊急連絡網の整備 | B | 適切に実施 |
| | 自己管理システム | 事業報告書において、業務の自己点検と業務への反映についての具体的記載 | 利用状況分析報告書にて課題の抽出と改善案の提示 | B | 適切に実施 |
| | 事故防止の取組 | ・補償を伴う事故発生件数0件 | 発生無し | B | 事故発生の報告なし |
| | 関係法令の遵守 | 個人情報保護、情報公開及びコンプライアンスに関する研修年1回以上 | 社内伝達方式による研修会を更新の都度実施 | B | 適切に実施 |
| | 業務基準書等に定める事項の遵守 | その他業務仕様書等に定める事項の遵守 | 業務基準書に定める事項を厳守 | B | 適切に実施 |

| | | | | | |
|--------|--------------|----------------------------|---|---|-------|
| 人 材 | 配置人員条件の充足 | 業務に必要な資格又は専門知識、経験を有する職員の配置 | 適切に対応 | B | 適切に実施 |
| | 配置人員のスキルの習得度 | 職員研修を年3回以上実施 | ・水難救助訓練2回以上実施 ・AED操作訓練2回以上実施 | B | 適切に実施 |
| | 労働基準の充足 | 労働関係法令の遵守 | ・庶務研修による労働時間管理の徹底 ・衛生推進者の配置 ・ハラスメント防止推進員の配置 | B | 適切に実施 |

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

2部入替え制が浸透してきており、安全安心して利用できるようになったことが、利用者増加につながっている。(長時間滞在による飲酒や幼児の放置などの迷惑行為も激減した)
また、積極的なホームページの更新やGoogleビジネスに施設紹介動画投稿(20,000回以上視聴)した効果もあり、「初めて施設を利用しに来た」という方が多かった。

所管課による総合評価(所見)

利用者数及び使用料収入ともに目標を上回る実績となり、充実した広報や利用者の満足度向上への取組みの結果と推定される。基準書並びに業務計画書に基づき指定管理業務は適正に運営されている。施設の維持管理についても、衛生管理・安全管理に努めるとともに、利用者への対応も適切に行われており、指定管理者として良好であると評価される。
屋外施設となり天候の影響も大きいですが、今後も利用者のニーズに対応した施設運営を行い、高い満足度を維持することを期待する。